

IFRS 地域ポリシー・フォーラム 日本 2007

コミュニケ

（仮訳）

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2007年3月29日、国際財務報告基準（IFRS）地域ポリシー・フォーラムを東京で主催した。

アジア・オセアニア地域の14の国と地域から、会計基準設定主体や監督機関、会計士協会及び政府機関の代表者が出席した。Sir David Tweedie 議長を含む、国際会計基準審議会（IASB）の代表者も出席した。

IFRS の利用は、アジア・パシフィック地域及び世界に拡大し続けている。IFRS は、現在、世界百カ国以上で要求又は認められ、IFRS と米国会計基準とのコンバージェンスの作業も進展している。IFRS は、基準が最初に公表されてから期間がたち、さまざまな国の会社が、いくつもの期間にわたって IFRS を利用して報告を行っている。さらなる進展としては、IFRS の完全版になった、特に中小企業（SMEs）向けの新会計基準の公開草案が IASB により最近公表されたことが挙げられる。

フォーラムの参加者を歓迎して、斎藤静樹 ASBJ 委員長は、世界的な財務報告の展望は、大きな変化を経験し続けることに言及した。斎藤委員長は、「共通の世界的な会計基準への移行は、すべての国にとって大きな課題である。本フォーラムでは、アジア・パシフィック地域からの参加者により、地域及び世界の双方の視点から、これらの論点を議論することができた。」と述べた。

IFRS 地域ポリシー・フォーラムは、2005年10月にオーストラリアのシドニーで、オーストラリア及びニュージーランドの共催により初開催されたフォーラムに続き、2回目である。

フォーラムのセッション

フォーラムは、以下の3つの主要セッションから構成された。

- ・ アジア・パシフィック地域での IFRS の解釈
- ・ 中小企業（SMEs）による財務報告
- ・ さまざまな国で利用されている会計フレームワークを記述する際に IFRS を参照することに関連する論点

これらのセッションでは、本地域での IFRS の実施に関連する課題が残されているが、その導入の成功に伴う便益が大きいことが強調された。Sir David Tweedie IASB 議長は、参加者に、IFRS の実施が順調に進展していることを報告した。David 卿は、「IASB は、本地域及び世界の双方での IFRS の導入を大いに歓迎している。中小企業向けの会計基準案の開発のようなイニシアチブは、世界的な会計基準が利用者と作成者の双方に便益を提供し続けることを確かなものとする。」と述べた。

以上のセッションに加え、西川郁生 ASBJ 副委員長が、国際的コンバージェンスに向けた日本基準の最近の進展に関するプレゼンテーションを行った。西川副委員長は、「日本は、IFRS を採用せずに国際的なコンバージェンスを目指している。コンバージェンスと採用の違いは、単一の高品質な会計基準という目標へのプロセスの違いであり、目標そのものの違いではない。われわれは、他の国々が直面する課題を理解することは有意義であると考え。」と述べた。

本フォーラムで議論されたその他の論点は以下のとおりである。

- ・ 原則ベースの基準のさらなる理解を促進することを目的とする教育活動の重要性
- ・ 国際的コンバージェンスに向けた日本基準の最近の進展
- ・ 財務報告の論点に関する定期的な対話を行うことの、基準設定主体、会計士団体、政策設定主体及び規制当局を含むすべての利害関係者にとっての意義

成果

1. 本地域に横断的に、IFRS の解釈に関する課題が存在することが合意された。参加者は、解釈の必要性の背後にある要因及び、個々の国が国際財務報告解釈委員会（IFRIC）により公表された解釈指針に加えて解釈指針を公表する必要なしに、こうした必要性に対応できる可能性のある方法を議論した。
2. 参加者は、SME 公開草案に対するコメントを IASB に提供することを奨励された。特に IASB は、提案されている基準が利用者と作成者のニーズの適切なバランスを達成しているかどうかの助言を求めた。参加者は、個々の国が直面する特定の課題に

- ついて IASB にフィードバックしたほか、提案されている基準が、多くの国に対して、それらの国における SMEs の報告フレームワークの検討を促すことを指摘した。
3. 参加者は、個々の国が IFRS のバッジをつけ直すことに伴う論点、及び IFRS に準拠していると国際的にも認識された財務報告を持つことの重要性を認識した。
 4. 本フォーラムが、本地域の国にとって、共通に関心のある論点を議論するための有益な機会を提供したことが認識された。参加者は、本フォーラムが定期的なイベントとなることを強く支持した。

フォーラムの成功に対するコメントとして、オーストラリア財務省 Executive Director の Jim Murphy 氏は、ASBJ に対して本イベントを主催したことに謝意を表した。Murphy 氏は、「東京での IFRS 地域ポリシー・フォーラムは、大成功であった。本フォーラムは、本地域に影響する当面の会計及び財務報告上の論点について、本地域の政策設定主体が意見交換し、共通理解を深める貴重な機会を提供した。本地域ポリシー・フォーラムが定期的なイベントとなることを期待している。」と述べた。